



JAPEX

エネルギーの安定供給をかなえてきたJAPEX。

たくさんの産業や、人々のくらしの力となってきた。

そして今、再生可能エネルギーの開発はもちろん、

地中深くにCO₂を封じ込める技術の確立など、

次世代の扉を開く大胆な取り組みを続けている。

新しいエネルギーや技術を見出し、新しい社会へ。

この挑戦は、新しい自分の可能性に出会えるチャンスでもある。

たくさんの「新しい！」を発見できるエネルギー変革期を

JAPEXで一緒に楽しもう！！



JAPEX



当社は、祖業である石油・天然ガスのE&P事業を進めて事業基盤を引き続き確固たるものとしながら、将来のカーボンニュートラル事業化を拡大することを通じて、エネルギーの安定供給という社会貢献を会社一丸となって進めています。

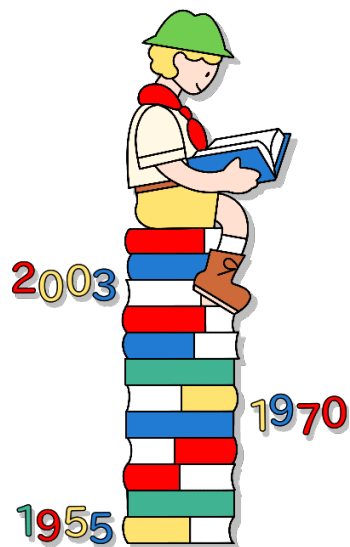
今、当社に必要なことは、将来のためにこの両輪を確実に回すことであり、そのためにこうしたチャレンジに共感する人を増やすこと、一人でも多く当社を知って、関心を持って、同じ方向を向いて共に活躍してもらうことにあります。

皆さんには、これからの未来に向けて、新しいエネルギー、新しい事業、新しい技術をぜひ目の当たりにしていただくとともに、新しい自分も発見し、変化していく会社にも自分にもワクワクしてほしいと願っています。

このような当社で、一緒に新しいことに挑戦してくれる人を待っています。

取締役 常務執行役員（総務法務部担当、人事部担当）

舟津 二郎



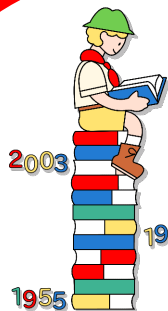
PAST & NOW

沿革・歴史

JAPEXは半世紀を超え、石油・天然ガスの探鉱・開発・生産に取り組む、

日本のE&Pパイオニア企業です。

エネルギー変革期の今、クリーンなエネルギーへの取り組みも始まっています。



沿革・歴史

当社は石油・天然ガスの探鉱・開発・生産（E&P）を担う会社として1955年に設立しました。

「エネルギーの安定供給」を使命に、我が国の石油・天然ガス開発の発展へ貢献するとともに、総合エネルギー企業としての成長を目指しています。

国内石油鉱業の 国策会社として出発



1955.12

石油資源開発株式会社法にもとづく
特殊会社として創立

1956.07

当社初の国内油田となる、北海道・平
取油田発見（生産期間1956～1961年）

国内油田を発見し 事業が軌道に乗る

1972.03

日本海洋石油資源開発設立後初の海
洋油田となる新潟県・阿賀沖油ガス
田発見（生産期間1976～1998年）

1996.03

新潟・仙台間ガスパイプライン開通



事業地域の拡大と 事業の多角化を進める

2003.12

東京証券取引所市場第一部に
株式を上場

2007.05

インドネシア・カンゲアン
プロジェクト参画

2011.11

勇払LNG受入基地操業開始

2012.08

アメリカ・タイトオイル開発
事業参画

総合エネルギー企業 としての成長を目指す

2013.08

イラク・ガラフプロジェクトで
原油の生産を開始

2014.06

北海道事業所メガソーラー稼働開始

2018.03

相馬LNG基地操業開始

2020.04

福島天然ガス発電所営業運転開始

2022-2023

網走バイオマス第2発電所
／同第3発電所営業運転開始

2023

ノルウェー領海上鉱区で
探鉱・開発事業に参画

2024

アメリカ・フリーポートLNG
プロジェクトに参画



職種紹介・業務領域

エネルギーの安定供給というミッションを胸に、最前線で活躍するJAPEXの社員たち。
その職種と業務領域についてご紹介します。

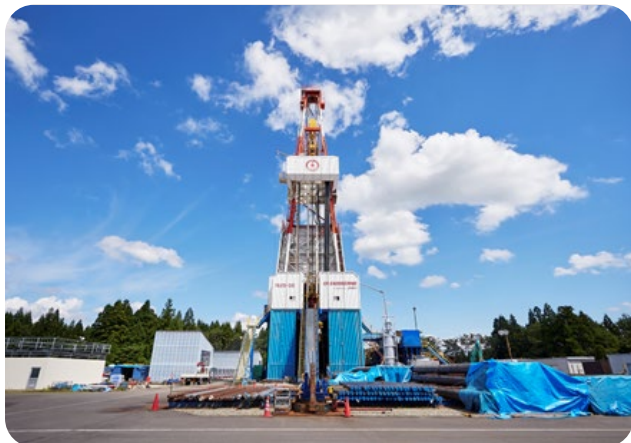


職種紹介・業務領域

3つの事業分野

1

石油・天然ガス E&P事業
Exploration & Production



国内外で石油・天然ガスの探鉱・開発・生産（E&P）事業を行っています。当社の埋蔵量・生産量を中長期的に維持・拡大するため、技術や知見を最大限に発揮しながら、新規油ガス田の発見や既存油ガス田の追加開発などに取り組んでいます。

※E&P（Exploration & Production）とは石油・天然ガスの探鉱・開発・生産のことです。

2

インフラ・ユーティリティ（I/U）事業
Infrastructure & Utility



国内への天然ガスの安定供給のため、総延長800kmを超える高圧ガスパイプライン網、LNGの受入基地、LNGローリーによるサテライト輸送などのさまざまなインフラや方法を活用し、国産天然ガスと海外調達したLNGをあわせて供給しています。

また、環境負荷の低いLNGを燃料とする福島天然ガス発電所での天然ガス発電事業や、再生可能エネルギー開発にも取り組んでいます。

3

カーボンニュートラル（CN）事業
Carbon Neutral



株式会社地球科学総合研究所による作業風景

カーボンニュートラル社会実現への貢献を目指し、これまでの石油・天然ガスの開発・生産などの知見を活かしたCO₂地中貯留技術の確立と、2030年までの実用化を目指しています。

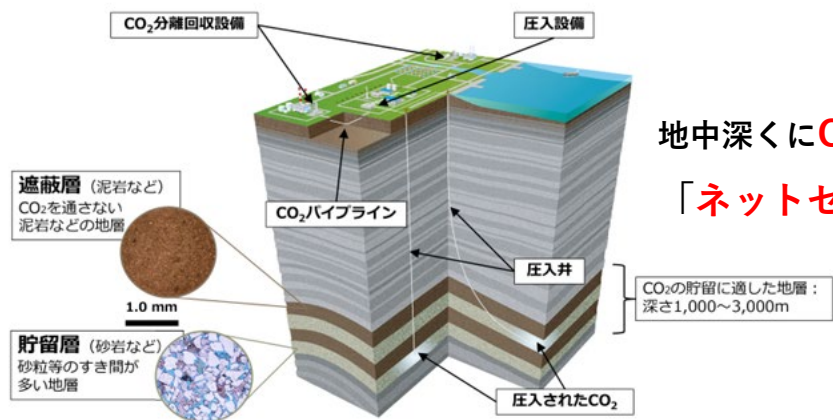
当社は、二酸化炭素（CO₂）の実質排出量削減に貢献するCCS（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素の回収・貯留）やCCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage：二酸化炭素の回収・有効活用・貯留）の、2030年までの事業開始、ビジネスモデルの確立を目指す取り組みに参加しています。



FUTURE

未来への挑戦

カーボンニュートラル社会に向けての取り組み（CCS）



地中深くにCO₂を貯留し、
「**ネットゼロ**」の達成を目指す

CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素の回収・貯留）は、工場や発電所などで発生するCO₂を、大気中に排出する前に回収して、地中に圧入、長期間貯留する技術で、温室効果ガスの実質排出量削減への貢献が期待されています。その実用化には、CO₂の圧入に適した地層の調査や、圧入するための坑井、そして長期かつ安定的に貯留するための技術や知見の確立が必要です。JAPEXは、石油・天然ガスの探鉱・開発・生産（E&P）で培った技術や知見を活用し、2030年までにCCSの実用化を目指しています。

地下資源に加え、次世代のエネルギー供給技術にも進出中



日本のエネルギー事業を支えてきたJAPEXは、カーボンニュートラル社会の実現のため、バイオマス発電事業や太陽光発電事業等の、再生可能エネルギー開発にも積極的に取り組んでいます。事業の開発や運営などにおいても、石油・天然ガス開発で培った地下構造の調査や掘削などの技術に加え、天然ガス発電所の建設や運営で得た知見や、これまでの事業で構築してきた地元とのリレーションなどを活用しています。





職種紹介・業務領域

職種紹介

地球科学

Geology & Geophysics



地下に眠る石油や天然ガスを探し出すことがミッションです。地下の様子は直接見ることは出来ませんが、地質調査や物理探査をはじめとしたさまざまな調査で得られたデータを基に評価を行います。有望地域を見つけたら、井戸を掘る場所を決めます。石油や天然ガスが発見されれば、開発検討にも加わります。その他、CCSの適地選定のための評価なども行います。

開発

Engineering



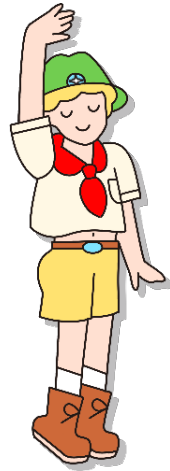
探鉱の結果、石油・天然ガスの存在が確認されれば、各種データから油ガス層の埋蔵量評価を行います。さらに、貯留層シミュレーションモデルを駆使して経済性の評価を行います。採算が取れると判断した場合、最適な開発計画を策定し、生産井を掘削します。並行して、石油・天然ガスの処理や貯蔵などに必要な設備・施設を建設し、石油・天然ガスを生産フェーズに移行します。

事務

Administration



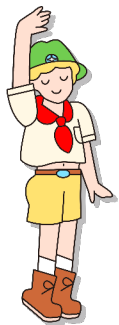
事務部門は、新規プロジェクトの検討・調査からヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源のマネジメントまで、幅広い業務を担当。法務、総務、経理、資材、人事といったコーポレート部門から、海外、再生可能エネルギー、カーボンニュートラル等の事業部門まで幅広く経験が可能です。



GROWTH

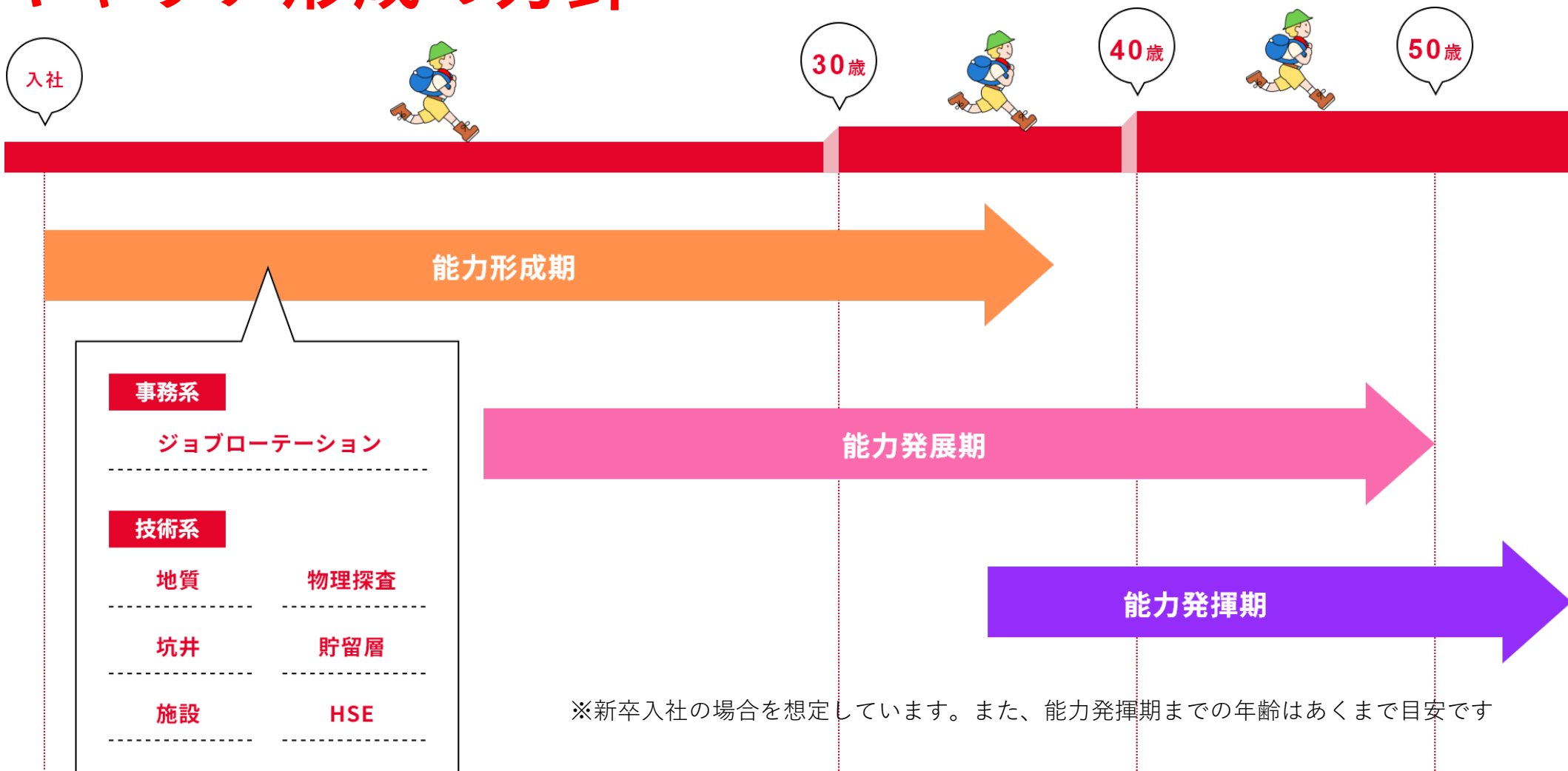
成長の環境

JAPEXにおけるキャリア形成の方針や教育プログラム、働く環境、
福利厚生についてご紹介します。

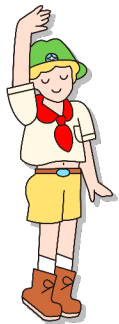


成長の環境

キャリア形成の方針

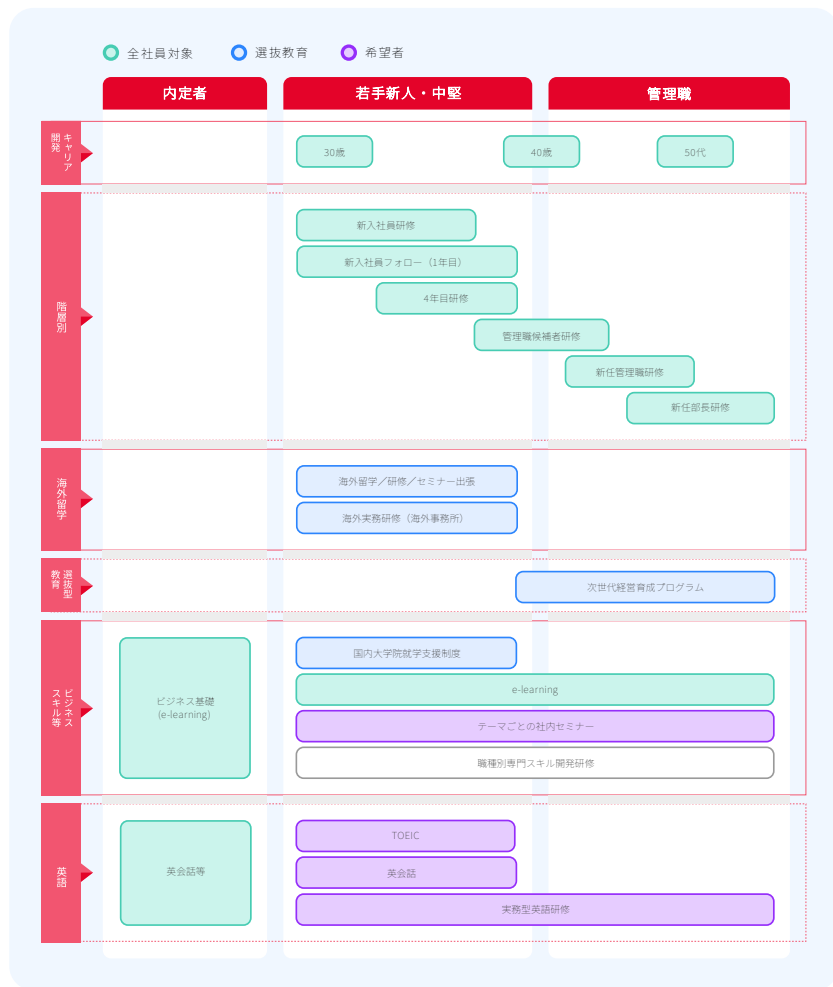


※新卒入社の場合を想定しています。また、能力発揮期までの年齢はあくまで目安です



成長の環境

教育プログラム



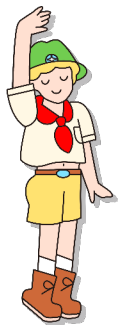
働きやすい職場環境（外部評価）



「くるみん」認定の取得

「えるぼし」認定の取得

- PRIDE指標の「ブロンズ」受賞 ※2024年11月
- 健康経営銘柄 2年連続選定／2024年、2025年
- 健康経営優良法人2025 9年連続で選定



福利厚生

単身寮・社宅



長岡事業所の単身寮



武蔵野市（吉祥寺）の社宅

単身寮 ※～35歳（ただし35歳以上でも単身赴任の場合は可）

社有 8,000円/月

借上

東京本社配属の場合

自己負担 8,000円 + 家賃超過分

家賃65,000円までは会社負担

（例:8万円の家賃の場合、自己負担23,000円/月）

世帯社宅 ※40歳の誕生日or入居期間10年のいずれか遅い日まで（ただし最長で45歳の誕生日まで）

社有 19,200円/月
or
23,200円/月

借上

東京本社配属の場合

自己負担 14,400円～ 20,800円 + 家賃超過分

家賃110,000円までは会社負担

※自己負担額は広さに応じて変動。

各種制度



フレックスタイム制

始業及び終業の時刻は社員
が選択、コアタイムなし、
標準勤務時間7時間35分



在宅勤務

週2日、月8回程度を
目安に可能



就業時の服装自由化

清潔感、安全性に留意し、
自律的に働きやすい服装を
自由に選択することが可能

JAPEXの育児両立支援制度（一例）

育児休業

産前産後休暇

育児短時間勤務

フレックスタイム
制勤務

在宅勤務

看護休暇

保育料の補助

こども家庭庁
ベビーシッター券

JAPEXのキャリア開発等支援制度（一例）

社内公募制度

チャレンジ
支援制度

国内大学院
就学支援制度

特定資格取得
促進制度



SATISFACTION SURVEY

社員に聞いた！JAPEX

働きやすい職場環境の実現に向けた取り組みの成果を数字で示しました。



社員に聞いた！JAPEX

JAPEXの新卒入社・キャリア入社の合計157名にアンケートを実施しました。

Q. JAPEXのいいところは？

新卒編



1位 社風・人柄が良い！

2位 待遇が良い！

3位 働きやすい！

キャリア編



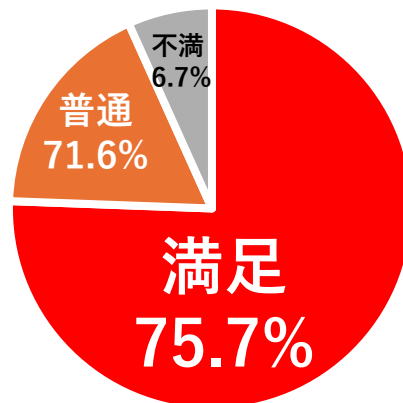
1位 働きやすい！

2位 待遇が良い！

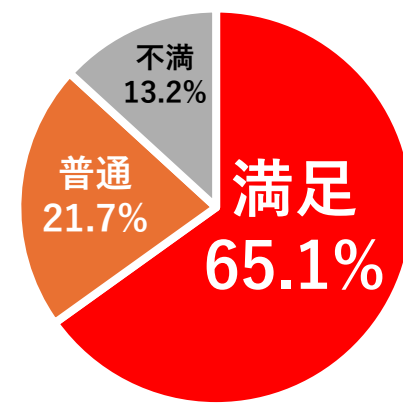
3位 社風・人柄が良い！

Q. 働きやすさや福利厚生に満足？

新卒編

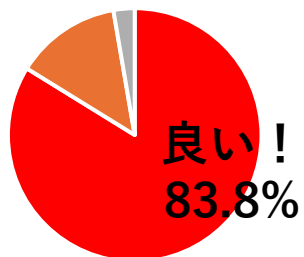


キャリア編



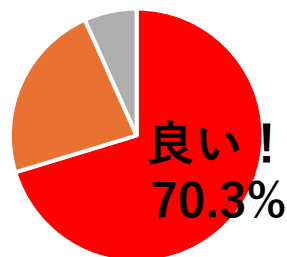
新卒編

Q. 上司・先輩の印象は？



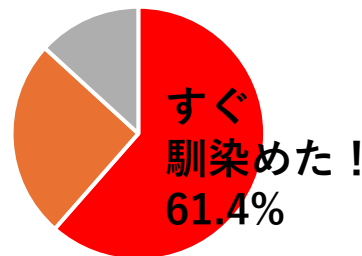
新卒編

Q. 同期は仲が良い？



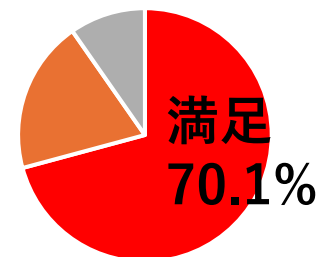
キャリア編

Q. すぐ馴染めた？



キャリア編

Q. 転職に満足？





数字で知る！JAPEXの働く環境

平均勤続年数

15年

2023年度実績

平均残業時間

15時間

2023年度実績

平均有給休暇消化率

84.3%

2023年度実績

平均年齢

40.4歳

2023年度実績

新卒採用者の女性比率

35%

2023年度実績

育休取得率

男性 **60**% 女性 **100**%

2023年度実績

育休復職率

100%

2023年度実績

育休定着率

100%

2023年度実績

※育休からの復職者の定着率

appendix

過去5年間の採用実績（新卒）

学 歴	職 種	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
大学 (大学院含む)	事務系総合職	15	10	7	8	5
	技術系総合職	12	10	10	10	8
高専・専門 ・短大	事務系総合職	-	-	-	-	-
	技術系総合職	-	-	-	-	-
高校	事務系総合職	4	3	3	3	2
	技術系総合職	2	2	2	3	2
合 計		33	25	22	24	17

(人)

過去5年間の採用実績（キャリア）

2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
42	25	31	30	17

(人)

関連資料

採用サイト

<https://www.japex.co.jp/recruit/>

コーポレートサイト

<https://www.japex.co.jp/>

統合報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

経営計画

<https://www.japex.co.jp/ir/management/managementplan/>



THANK YOU!

